

臨時選挙管理委員会会議録要旨

日 時	令和7年3月 28 日(金) 午前 10 時 00 分
場 所	横浜市選挙管理委員会室
出 席 者	吉原委員長、和田委員長職務代理者、森委員、藤代委員
	武島事務局長、石川選挙部長、廣澤選挙課長、古川調査課長
	須藤庶務係長、遠藤選挙係長、代田調査係長、田村啓発係長
	間宮専任職、宗仲職員

議 事

議事に先立ち、議案 1 については、委員の率直で自由闊達な意見交換が必要であるため、横浜市選挙管理委員会規程第 7 条第 3 項第 3 号に基づき、非公開と決定した。

1 議案

(1) 横浜市長選挙の選挙期日等について

改めて日程決定の根拠条文、選挙執行可能期間、候補日前後の考慮すべき事項を説明した。

《主な発言》

委員長：本日は資料のとおり横浜市長選挙の選挙期日とあわせて開票日についても議決いただきたい。

今回の市長選挙については、TICAD 9（第 9 回アフリカ開発会議）の開催や夏休み・お盆期間との兼ね合いもあり、大変難しい日程設定となっていることは皆様ご承知のとおりと思う。

委員の皆様それぞれ、これまで考慮いただいていると思うが、私としては、主に 4 点

- ① TICAD 9（第 9 回アフリカ開発会議）と日程を離すこと
- ② 有権者の投票しやすい日程とすること
- ③ 地域が投票所の従事者等を確保しやすい日程とすること
- ④ 参院選後の選挙への関心の高まりが相乗効果として期待できることを考慮し、8 月 3 日とせざるを得ないと思うがいかがか。

委員全員：異議なし

委 員：事務局の執行体制が非常に心配である。何か対策は考えているのか。

事務局：これまで以上に局応援に力を入れる。局としても協力していただけるものと考えている。今回は局職員にも期日前投票所の従事をお願いする予定である。また、当日投票所の従事職員 4 人のうち 1 人を局職員としたい。選挙準備期間中の選管本部の応援体制を強化することも検討している。

委 員：参議院選挙から市長選挙まで 1 か月ほど選挙期間が続くことになる。選管として応援体制をしっかり構築していただきたい。今年は国勢調査の年でもあり現場の負担がかなり大きい。ミスが発生することのないよう十分に注意しなければならない。

委 員：従事者向けに研修会の内容を充実させてほしい。

事務局：従事者には必ず説明会への出席をお願いしたい。集合型だけではなく配信での実施も考えたい。

《選挙期日は 8 月 3 日、即日開票とすることで決定》